【がん種】 多発性骨髄腫
【レジメン名】 BPd①1～8コース目
【登録番号】 011340
【1コースの期間】 3週間
【総コース数】 8コースまで（忍容性があればBPd②9コース目～ を施行する）
【催吐性リスク】 最小度：ベルケイド, ポマリスト
【抗がん剤の組織障害性】 イリタント（炎症性）：ベルケイド
【投与量に制限のある薬剤】 なし
【主な有害事象】 編集中

【必要な検査】 編集中
【根拠論文】 Lancet Oncol 20:781-794, 2019.
【点滴の時間】 -
【費用】 編集中
【その他】 ベルケイド：調製後8時間以内に投与を終了する.
ポマリスト：正式採用品ではないため「限定使用薬品申請書」の薬剤部への提出が必要. レブメイトでの運用, 必ず院内処方,
VTEのリスクに応じてバイアスピリン錠 1錠/日 or ワルファリンカリウム錠（PT-INR 2～3を目標）を服用する（Leukemia 22, 414-423, 2008.）.

Rp	薬剤名	量	投与方法	投与時間	投与日														
					1	2	…	4	5	…	8	9	…	11	12	…	14	…	21
1	アシクロビル錠 200mg	2 錠/回	内服	1日1回朝食後	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2	生理食塩液 20mL ベルケイド注射用 調製開始から8時間以内に投与終了	1 A 1.3 mg/m2	皮下注	2.5mg/mLの濃度に調製 27Gの針 腹部、大腿部	○			○			○			○					
3	レナデックス錠 4mg 朝食後に服用できない場合には可能な限り早い時間に服用	5 錠	内服	1日1回朝食後	○	○		○	○		○	○		○	○				
4	ポマリストカプセル	4 mg/回	内服	1日1回夕食後	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		